

この台本の記載は、本編音声とは一部内容が異なることがあります。」

【ローザA】まあでも……少しくらい男らしいところも見せてもらおうかな……って思ったりもしてるんだけど……。

【ローザB】というわけで、今度はこれ。何だかわかるわよね？

主…ダッチワイフ……ですね（今度は何やらされるんだろうと怪訝な表情で）

【ローザA】そう。ダッチワイフのマナミちゃんよ。かわいいでしょ？ 柱にくくりつけられて……お尻をこっちに向けて……とってもいやらしい格好だわ。

【ローザB】今からお前に、この子とセックスしてもらおうわ。バックでマナミのオマンコについて、イかせてあげなさい。

【ローザA】これ、ただのダッチワイフじゃないの。うちのママがメーカーにお願いして特別に作ってもらったのよ。ちゃんと上手に責めてあげれば、この真っ白な肌がだんだん赤くなってきて、最後はプルプル震えてイっちゃうの。

1

主人公、本当ですかと言いたいと言えぬ。

【ローザB】なに、その顔は。信じられないの？

【ローザA】やってみればわかるわ。……まあ、お前みたいなマゾのヘナチヨコピストンじゃ、マナミ……イかないかもしれないけどね。

【ローザB】言っとくけど、壊さないでよ。高いんだから。修理するのに私が一か月タダ働きしなくちゃいけなくなっちゃう。

【ローザA】まあ、心配しなくてもよほどのことがなければ壊れないわ。オマンコの部分は脱着式だからあまり乱暴にすると外れるかもしれないけど……。とにかく、そのくらい高性能だっていうこと。わかった？

主…は、はい。わかりました。

【ローザB】わかったらほら、さっさとマナミのオマンコにその粗末なモノをぶち込みな。もうお前のチンポで突き刺されるのを待ちわびてるんだよ。

【ローザA】ほら、チンポをオマンコにあてがって……ぶっ刺しな！

主人公、マナミに挿入する。入れた瞬間、その気持ちよさに驚きの声をあげる。

【ローザB】ふふ……どう、マナミのオマンコの味は。あつたかくて、ヌメヌメのヌチヨヌチヨで……、チンポをきゆうきゆう締め付けてくるだろう？ 男の精液を無理やり搾り取る形をしたオマンコに、お前のチンポ……耐えられる？

【ローザA】気持ちよすぎて……ふふっ、身体力が入らなくなっちゃうねえ……。まるで生き物みたいにウネウネ動いて、チンポがオマンコの奥へ奥へと引きずり込まれて……、チンポの先っぽがねっとりとしたヒダヒダに包み込まれて……。

【ローザB】この子がどれだけ高性能か……わかった？ ん？

【ローザA】ほら……、動いてごらん。腰を振ってマナミをイかせてみな。

【ローザB】なんだいそのへっぴり腰は……。そんなんじやイかせられないよ。もっと男らしく腰振ってごらん。

【ローザA】チンポが溶けそうになるくらい気持ちいいだろう？ でも……お前がやらなくちゃいけないことは、お前がイくことじゃなくて、マナミをイかせることだからね。

【ローザB】マナミより先にいったら……、マナミにイかされたら……、ムチでオシオキ……だからね？

【ローザA】お前がイくのが先か、マナミがイくのが先か……、どっちだろうねえ？ ふふ……うふふふふっ。

【ローザB】ほら……、耳なめしててあげる。しっかり腰振りな。

必死に腰を振る主人公を左右から挟み込み、言葉責めと耳なめで精神にプレッシャーをかけていく。

【ローザA】お前が腰を振るたびに……ぬちゅぬちゅのオマンコがチンポにこすれて……、ひとこすりするたびにチンポにしびれるような快感が走って……、どんどん気持ちよくなっていったちゃう……。

【ローザB】でも……、マナミの肌が温かくなってきたのがわかるだろう？ マナミも感じているんだ。ほら……もっと腰を振って……男なら女をイかせてなんぼだろう？

【ローザA】気持ちいい……。気持ちいいねえ……。マナミのオマンコ気持ちいいねえ……。気持ちよすぎて……ふふっ、お前……先にイカされちゃうんじゃないの？

【ローザB】しょせんはマゾブタだものねえ、お前。マゾブタがいくらがんばったって、女に勝てるわけないんだもの。どうせお前、イカされちゃうよ。お前のマゾチンポ、マナミにイカされちゃうんだ。ふふ……うふふふふっ。

【ローザA】悔しい？ こんなこと言われて悔しくないの？ ん？ 男だったらほら、自慢のチンポで女をイかせなくちゃ。ねえ。がんばれ……ほら、がんばれ。うふふふふっ。

【ローザB】自慢のチンポが……マナミのオマンコの中でいじめられて……。ふふっ。マナミをイかせるために腰を振れば振るほど、気持ちよくなっちゃう。マナミに気持ちよくさせられちゃう……。

主人公、マナミの性器の気持ちよさに、先にイカされそうになってしまう。

【ローザA】どうした？ ん？ 顔がだんだん切なさうになってきてるよ。まさか……もうイっちゃうんじゃないだろうねえ？

【ローザB】マナミ……こんなんじゃまだまだイかないよ。ほら、チンポイきそうなの我慢してしっかり腰振りな。

【ローザA】だんだんわかってきただろう？ お前のチンポは……自慢のチンポなんかじゃないんだ。かたく勃起したそれで女を貫いて、アンアン喘がせることなんて……お前にはできやしないの。

【ローザB】自分のシンボル……自分そのものであるチンポをいじめられて、アへ顔をさらしながらびゆくびゆく搾り取られちゃう、どうしようもなく弱い存在……。それがお前。だろう？ 違うかい？ ふふ……うふふふふっ。

【ローザA】こうやって言葉で責められるのも大好きで……、女になじられればなじられるほどチンポも気持ちよくなって……。お前……もうマナミに勝とうって気持ち、なくなってるんだろう？

【ローザB】お前のチンポ……マナミに負けちゃうね。マナミのオマンコにイカされちゃうねえ。お前が無様に負けるところ……私たちが見ててあげるよ。

【ローザA】ほら、いきな。マナミに搾り取られちまいな。イケ……ほら、いつてしまえ。

（射精）

【ローザB】あはっ、いった。いっちゃったねえ。負けちゃったねえ。

【ローザA】お前……なにイっちゃったんだい。先にイかされたらオシオキって……忘れちゃったの？ ん？

【ローザB】ちゃんと覚えてたわよねえ。ムチで叩かれないから必死で我慢したんだろう。ね？ でも……マナミのオマンコが気持ちよすぎて……先にイカされちゃうってわかつちやって……。

【ローザB】限界まで我慢したけど、最後は諦めて射精しちゃったのよね？ もう負けてもいいやって思っちゃったんだろう？

【ローザA】その気持ちの弱さが……お前の弱さよ。その性根……ムチで叩き直してあげる。……ほらっ！ ほらっ！ ほらあっ！

【ローザB】ほーら、齒を食いしばって我慢なさい。女王様のムチ……ありがたしく受け止めるのよ。

【ローザB】ほら見ててごらん。どうやったらマナミをイかせられるか、このデイルドを使って見本を見せてあげる。どう刺激したらマナミがいい反応をするか、ちゃんと見てるんだよ。

ローザBがマナミの性器を愛撫する。

【ローザB】ほおら、ちゃんと見る！ マナミの体…：火照ってきただろう？ お前と違ってこういうふうに相手のことをよく見ながら刺激してあげれば、ちゃんと感じさせることができるんだよ。

ちよつと時間が経過（省略）

（フェードイン・ムチの音が鳴り響く）

マナミが絶頂する。

【ローザB】ほら、いった。マナミの体がビクビクって痙攣して…：ちゃんとイかせられただろう？ かわいい声であえいでくれればもっと面白いかもしれないけど、オモチャにそこまで期待してもね。

【ローザA】わかった？ ん？ わかったかい？ マナミがイかなかったのは、マナミが悪いんじゃないくて、お前がヘタクソなだけなんだよっ。

半信半疑で見ていた主人公だが、実際にいくところを見せられて呆然としながら何度も謝る。

【ローザA】まあ、今ので十分わかっただろう。ムチもこのくらいにしといてあげる。

【ローザB】オシオキしていただいたお礼、言わなくちゃね。女王様、ありがとうございますって。

【ローザA】お礼よりも、行動で示してほしいわね。…：というわけで、マナミにリベンジして見せなさい。もう一度マナミのオマンコに挑んで、今度こそイかせてごらん。

主…ふえ…：…？

【ローザB】ん？ なにその顔は。なに終わった気になってるの？ まだプレイ終了だなんて言ってないわよ？

【ローザA】お前っていう男はどこまでどうしようもないんだろうね。ここではお前に決められることなんてなに一つとしてないの。そんなシンプルなルールも守れないの、お前は？

主…も、申し訳ございません。

【ローザB】別に謝らなくてもいいわ。謝る暇があったらマナミをイカせることに集中しな。

主…で、でももう、ちんちんが…

【ローザA】チンポもう立たないとか、そんな言い訳は聞きたくないねえ。立たないなら…無理やり立たせるまでだよ。ねえ？

【ローザB】そうね、じゃあ…。

（ヒールの足音が近づいてくる）

【ローザC】ふふっ…うふふふふふっ…。

【ローザA】3人目の私がお前のケツマンコを犯して…。

【ローザB】無理やりチンポ勃起させてあげる。

【ローザA】ほら、みてごらん。さっきお前のケツマンコをイかせたのと同じ形のペニバンだよ。

【ローザB】怖がってもダメ。逃がさないよ。おとなしくもう一度ケツマンコ犯されちゃいな。

【ローザC】ほら、捕まえた。行くよ。…んっ！

【ローザA】あゝ入れられちゃった。ケツマンコ犯されちゃったねえ。

主…あひいいい…。

【ローザB】うふふ…すごい顔。そんな切なそうにして…。

【ローザC】すぐに頭真っ白にしてあげる。ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、
ん……、ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……。

【ローザA】ふふっ……もう気持ちよさそうな顔になっちまってるじゃないか。
お前のケツマンコはほんと淫乱だねえ。

【ローザC】まだまだこんなもんじゃないよ。ほらっ……、ほらあっ……。奥ま
で突き刺してっ……、ほらっ……、身体の髓まで感じさせてあげるっ……。んっ
……、んっ……、んっ……。ふふ……うふふふっ。

【ローザA】ケツマンコ気持ちいい？ 女王様のチンポでケツマンコズボズボ犯
されるのがそんなにいいのかい？

【ローザB】お前のピストンよりずっと上手だろう？ お前のはただ腰を前後に
動かしてるだけ。そんなんじゃ相手をイカせることなんてできやしないの。

【ローザA】感情をこめて激しくピストンするときだって、ちゃんと相手の様子
を見て、感じるところを責めてあげないと……。

【ローザC】激しくしてあげようか？ ん？ ほら……ほらほらっ、ほらほらほ
らほらほらほらほらほらほらほらっ。んふっ……、んふふふっ、ほらほらほらほ
らほらほらっ、んっ、んふっ、んふふふっ、んふふふふふふっ。

【ローザA】んふふふふっ、すごいね、めちゃくちやに犯されちゃってるね。

【ローザB】お前のマゾチンポもほら……、どんどん大きくなって……。やっぱ
りお前は、女を犯すより、女に犯される方が好きなんだね。くすっ……くすくす
くすっ。

【ローザA】もうガチガチじゃないか。ケツマンコ犯されてこんなふうにしちま
うなんて……、ほんと変態だねお前は。

【ローザB】さあ、もういいだろう？ 今度こそマナミをイかせてみな。
主…は、はい……。

【ローザA】また先にイカされるんじゃないよ。今度負けたらどうなるか……覚
悟しときな。

【ローザB】……ん、怖いのかい？ また先にイカされるかもって不安なのかい？

【ローザC】オモチャ相手におじけづくなんて、ヘタレにもほどがあるってもんだねえ……。ほら、私が手伝ってあげるよ。チンポをこうやって……オマンコに突き刺すんだよっ。

【ローザC】さっそく気持ちよさそうな顔しちゃって……。やっぱりお前のチンポ、マナミのオマンコにかなわないのかねえ。くすくすくすつ。後ろも気持ちいいし、前も気持ちいいし……。

【ローザA】前後だけじゃないよ。

【ローザB】左右も……。

【ローザC】お前のマゾチンポ、ケツマンコ、両耳……、全部犯されてるよ。逃げ場を失ったお前の勝ち目……もうないかもしれないね。うふふふふつ。

【ローザC】マナミのオマンコがあったかくて、ヌメヌメで……。ねっちよりと絡みついてきて……。お前もう気持ちよすぎて腰動かせないんだろう。いいよ、別に。動かさなくても。両手でマナミの腰に……。すがりついてな。

8

【ローザC】私が動いてっ、お前に無理やりピストンさせてあげるっ……。んっ……。ほらっ……。ほらっ……。ほらっ……。ふふっ……。うふふふっ、ほらっ……。ほらっ……。

気力も体力も尽きて動けなくなってしまった主人公の尻を犯し、無理やり腰を動かさせてピストンを強制する。

【ローザC】私が深くまで突けば、お前のマゾチンポもマナミの奥に吸い込まれるだろう？ ほら……。ほら、ほら、ほらっ。

【ローザA】お前、助けてもらわないと女のオマンコを突くこともできないのかい。オスの資格……。ないなお前。この出来損ないが。くす……。くすくすくすつ。

【ローザB】出来損ないのくせに自分が気持ちよくなることだけはいつちよ前だねえ……。このマゾブタが。お前いま、何しなきゃいけないか……。わかってる？ マナミをイかせてみろって命令されてるんだよ？

【ローザC】お前のケツマンコ責めるの、少し休んでてあげる。ほら、さっき教えてもらったようにしてマナミをイかせてみな。

【ローザC】まずは、どう動けばマナミがよく反応するか……自分で動いて確かめてみな。

【ローザA】ふふ……お前にできるかしら。

【ローザB】せいぜいがんばってごらん、うふふふふっ。

主人公、最後の力を振り絞ってピストンする。

【ローザC】ほら……、見てごらん。だんだんマナミの肌が火照ってきた。やればできるじゃないか。

【ローザC】ん、どうした？ さっきまであんなに調子がよかったのに……また急に動けなくなってきたじゃないか。

【ローザA】チンポが気持ちよすぎて、もう動けなくなっただんじゃないの？ ねえ？

9

【ローザB】やっぱりお前のチンポじゃ、マナミのオマンコにはかなわないんだね。くすくすくすっ。

主…き、気持ちよすぎて……。

【ローザC】気持ちいいのは当たり前じゃないか、セックスしてるんだから。女をイかせようと思ったら、少しくらいの気持ちよさは我慢して動いてあげないと。自分一人気持ちよくなってたって、相手はイってくれないよ。

【ローザC】ほら……自分が男だっているという自覚が少しでもあるなら、ちゃんと腰振ってごらん。目の前の女をイかせてみな。

【ローザA】がんばれ……。ふふっ、がんばれがんばれ。

【ローザB】お前じゃ無理だと思うけどね。くすくすくすっ。

主人公、とうとう本当に体力が付き、そのうえ、目の前に差し迫った射精感で、

動けなくなってしまう。

【ローザA】やっぱりダメ？ マナミのオマンコ気持ちよすぎて、もうこれ以上は無理？

【ローザB】言っただろう、お前のチンポじゃどうせ無理だって。

【ローザC】まったく……。どこまでもダメな男だねお前は。いいわ、お前はもう黙って立ってな。私が動いてあげる。ほら……。ほら……。ほら……。

【ローザA】あは、またケツマンコ後ろからバコバコ犯されて……。

【ローザB】後ろから突かれるたびにチンポもマナミのオマンコの中でこすれて気持ちよくなっちゃうねえ。

【ローザA】このまま前後左右を囲まれて、逃げ場のない中で体と脳みそを快感でさいなまれて……。お前はただただ何もできずされるがままに犯されていくのよ。

【ローザB】犯しつくしてあげる。お前のなにもかもを否定しつくして、お前のすべてを……。壊してあげる。

【ローザA】うれしいでしょう？ お前みたいな男として出来損ないのマゾブタにとっては、女に負けて、女に自分の尊厳を踏みにじられるのが……。なによりの悦びなんだものねえ。

【ローザB】自分がどうしようもない低俗な存在だってことをかみしめながら……。みじめな泣き声をあげて、私を少しは楽しませてちょうだい。

【ローザC】なにもできないなら、せめて情けなく泣き悶えるくらいはしてもらわなくちゃ……。ねっ。ほらっ、ほらあっ。

【ローザA】いく？ イっちゃうの？ またマナミのオマンコに負けてマゾチンポから精液出しちゃうの？

【ローザC】我慢しろよほら、男だろうが。何回イかされるんだよ、お前は。ほらっ……。ほらっ……。我慢っ……。しろっ……。ほらっ……。ほらあっ

【ローザC】ケツマンコ……っ、きゆうきゆう締め付けて……きてっ……こっちでもっ……んっ……イキそうなのかお前っ？　ど・れ・だ・けっ……おらっ……スケベなんだ……よっ。

【ローザB】ほんと弱いな、お前。女に負けるために生まれてきたとしか思えないよ。くすくすくすつ。

【ローザA】ほら……、もういいよ。出しちゃいな。どうせこれ以上我慢したってお前にマナミをイカせることなんてできやしないんだから。

【ローザB】マナミにイカされるの、お前は。マナミのオマンコの中でチンポ犯されて、白いのびゅーびゅー出しちまうのさ。恥ずかしい声で泣きながらね。

【ローザA】女に犯されて、女に自分を否定されて、泣かされまくって……、最高に屈辱的なはずなのに、男として最っ低の目にあわされてるのに……。

【ローザB】お前ときたら……くす……くすくすくすつ。マゾっていうのは本当にどうしようもないね。

【ローザC】……なんてことを言われてっ、喜んでるんだものねっ、お前はっ。ほら、イけっ、ケツマンコ犯されながらチンポイっちゃまえっ。

【ローザC】ほらっ、ほらっ、ほらっ、ほらあっ。ケツマンコとっ……、チンポ両方でっ……、イッチゃいなっ！　ほらっ！　ほらほらほらっ！

（射精）

【ローザA】あは、いったね。

【ローザB】マゾブタいっちゃあがり。

【ローザA】くすくすくすくすくすくすくすつ

【ローザB】くすくすくすくすくすくすくすつ。

【ローザA】抜いていいよ、ほら。

主人公、腰を引く。

【ローザB】あゝあ、こんなにどろどろにして……。そんなに気持ちよかったのかい？

【ローザC】ケツマンコにさしたのも抜いてあげる。

【ローザA】ふふ……。もう全部出し切って放心状態って感じね。何言われてるかわかってないでしょ。

【ローザB】ま、私たちにここまでされて正気を保てた男っていないから……。しょうがないんじゃない？

【ローザC】ごちそうさま。楽しかったわよ、マゾブタくん。